

佐貫小学校・環小学校の再配置について

1 基本的な考え方

令和4年5月1日、佐貫小全児童数は43名、環小学校全児童数は53名です。

市教育委員会といたしましては、「極めて人数の少ない学級」が出てきていることから、子どもたちのよりよい教育環境を整える必要があると考えます。児童の発達段階に応じて切磋琢磨する場を設けることや、逞しい心身を育てていくためにも、一定規模を有する児童数が必要です。そのため「小学校では複式学級」「中学校では単学級」の解消を市の適正規模の目安と定め、『富津市小・中学校再配置計画』を策定しました。

保護者の皆様から、おおむね賛成の意見が得られたらと判断した後に、再配置計画を進めさせていただく考えとしております。

2 佐貫小・環小学校への説明について

コロナ感染拡大の影響もあり、人数を集めての説明会を開催することができませんでしたが、佐貫小学校及び環小学校が上記の基準となったため、コロナも収束傾向であった、令和4年3月22日に、佐貫小学校のPTA役員にまず説明に伺いました。

その後、再び、コロナ感染拡大があったため、コロナ収束後に以下の説明会を実施しました。

(1) PTA本部役員への説明会

第1回：佐貫小学校PTA本部役員説明会（令和4年10/14：10名参加）

第1回：環小学校PTA本部役員説明会（令和4年10/21：7名参加）

第2回：佐貫小学校PTA本部役員説明会（令和4年12/9：7名参加）

第2回：環小学校PTA本部役員説明会（令和5年1/19：6名参加）

おおむねPTA本部役員への説明を行い、新たな質問・意見が出なかったことから

(2) 保護者への説明会

第1回：佐貫小学校保護者説明会（令和5年2/15：15名参加）

第1回：環小学校保護者説明会（令和5年3/7：20名参加）

《上記の説明会の中でのQ&A（一例）》

Q. 説明会開催の趣旨について

A. 再配置について市の基本的な考え方の説明をしました。

Q. 天羽小学校が再配置されたときの事例など

A. 平成29年1/10より、約6ヶ月の間に、各小中学校のPTA・保護者・地区住民への説明会について、その後の、各部会毎の会議について説明しました。

Q. 交流会について

A. 湊・天神山・竹岡・金谷小での合同授業や合同校外学習について説明しました。

Q. 子どもたちへのケアやサポートについて

A. スクールカウンセラーによるカウンセリングをはじめ、教育相談を充実させ、事前の交流会や教職員の連携を行うことを説明しました。

Q. スクールバスの運行等について

A. スクールバスは児童・生徒の登下校の安全・安心を確保するために、最優先するものであること、再配置決定後に「スクールバス保護者意見交換会」を実施することを説明しました。

以上、その場で回答できるものは回答し、即答できないものは、持ち帰り検討させていただきます。次回の説明会で回答しました。

3 今後のスケジュール《その他説明会の予定》

- 第2回 佐貫小学校保護者説明会
- 第2回 環小学校保護者説明会
- 第 回 大貫・天羽小学校保護者への説明会
保護者へのアンケートの実施
- 第 回 地域住民説明会 佐貫小学校区
- 第 回 地域住民説明会 環小学校区
- 第 回 大貫・天羽小学校・地域住民への説明会

※各学校の再配置の方針決定後、準備期間は、おおむね2年を予定しております。